

令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

諫早市 COMPASS 児童発達支援センター



○事業所名	諫早市COMPASS児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 9日	～	令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 40名	(回答者数)	38名
○従業者評価実施期間	令和8年年 2月 2日	～	令和8年年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 11名	(回答者数)	11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	ご利用様が楽しみながら通所でき、成長を実感していただける事業所、安心してご利用いただける事業所を目指し、法令やルールを遵守しながら支援の充実に努めてまいります。
2	日ごろから児童の様子を保護者様と伝え合い、発達状況や課題について共通理解ができるよう努めております。	日々、アプリやご自宅への送迎時に、その日の活動内容や児童の様子をお伝えし、ご家庭での様子をお伺いするなど、情報共有に努めております。	今後も保護者様と児童に寄り添いながら支援をおこない、信頼関係の構築に努めてまいります。
3	活動プログラムを固定化しないよう工夫しております。	運動活動、机上活動だけでなく、季節の製作活動やイベントを取り入れ、療育内容が固定化しないよう工夫しております。	今後も活動内容が固定化しないよう職員間で話し合いをおこないながら、児童一人ひとりに合わせた支援の提供に努めてまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在、保護者会を開催するなど、保護者様同士の交流の場を設けることはできておりません。	事業所として体制が整っておらず、保護者様の就業状況等の観点からも、開催にはいたっておりません。	今後は保護者様のご意向を伺いながら、必要に応じて開催の機会を検討してまいります。
2	現在、事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営はできておりません。	安全面や個人情報保護の観点から、地域交流は控えている状況です。	保護者様のご意向を把握したうえで、利用児童の安全を最優先に考え、検討してまいります。
3	現在、ご家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)やご家族の参加できる研修の機会を設けることはできておりません。	児童やご家庭への個別的な支援や対応に重点をおいたため、対応できる体制が整っておりません。	今後も個別での支援や相談に対して丁寧な助言をおこなってまいります。また、体制整備を進め、ご家族が参加できる研修や情報提供の機会について検討してまいります。



公表日：令和8年6月24日